



練馬東中学校 学校だより

教育目標 ○心豊かな人 ○健康な人 ○考える人 ○共に生きる人

令和8年度9月号

相談は成長

校長 荒井 友香

充実した夏休みを終え、学校に生徒たちの元気な声が戻ってきました。大きな事故やケガの報告も今のところなく、無事に2学期のスタートを切ったことをうれしく思っています。

さて、9月1日は「防災の日」です。

近年、地震だけでなく、前例のない集中豪雨などの自然災害によって、日常生活がおびやかされる事態も相次いでいます。災害はいつ、どこで私たちの目の前に現れるか分かりません。だからこそ、日頃の備えと、自分自身の命をどう守るか、ということを真剣に考えておく必要があります。

本校でも避難訓練を行っています。放送の指示に従い、着実に短時間で避難を完了させる姿を見ることができます。でも、これが休み時間だったらどうでしょう。下校の途中で、近くに大人がいない場面はたくさんあります。それだけでなく、目の前に下校中の小学校低学年がいたら、助けますか？それとも、まず自分の身だけ守りますか？

中学生に求められるのは、その場の状況をよく見て、まず自分の命を守る「自助」の力です。グラツときたら頭を守る、危険な場所から離れるといった危険回避能力です。知識として知っているだけでなく、いざという時に動ける体にしておくことが大切です。

実際の災害時においては、中学生は「守られる側」とであると同時に、「守る側」でもあります。十分な体力と精神力をもっている生徒の皆さんは、お年寄りや小さな子どもを支えることができる存在です。緊急の場面で、「頭を守って！」「車から離れて！」と声をかけるだけで助かる人がきつといます。また、避難所でも物資の運搬や配布、幼児・小学生に声を

かけることなど、中学生にできることは無数にあります。いざと言うときに、一歩踏み出す「共助」の力も学校生活や地域での生活の中で育ててほしいと願っています。

2学期は合唱コンクールがあります。1年生は校外学習、2年生は職場体験、3年生は修学旅行と、自分ひとりだけの考えで行動することができない行事が続きます。とは言え、誰かの言うとおりにしているだけでは良い取組になりません。

そんな時にも、始めにその場の状況をよく見て、自分はどうしたいのか、どのように行動したら良いのかを考えて行動する。次に、仲間のために何ができるのか。無理なく、継続できることは何かを考え、実際に行動してみる。

まず自分、そして周囲の仲間、という流れは変わりません。

中学生の今は、失敗も大歓迎です。何をしたら良いのか分からなくてもいい。そんな時は、どうか信頼できる先生などの大人に相談してください。

行動してみたけれど、不安になった、嫌な思いをしてしまったという時も、どうぞ遠慮なく相談してください。

信頼できる人を探すことも含めて、「困っているよ」というサインを出すことも、「自助」の一つです。成長のために相談することもあります。相談する人は、成長する人でもあります。

保護者、地域の皆様、いつも生徒の日々の学びを支えていただき、ありがとうございます。豊かな学校生活は、「安全・安心」の上にあるものと考えています。今学期も、生徒共に成長する練馬東中学校でいたいと考えています。

どうぞ、よろしくお願いします。

◆春日町図書館に生徒のPOPが掲示されています。



図書委員、活躍中です

◆夏季休業中に学校整備をしました



放送室がきれいになってる！



かめきち、久しぶり

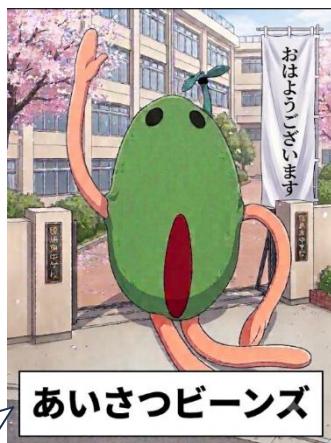
練馬区教育委員会が
電子黒板を新しくしてくれました。



和室が広くて、
大きくて、変わった！



○職員室前の雰囲気もがらりと変わりました。廊下の幅がひろがって、生徒が通りやすくなりました。私たちが快適に過ごせることに感謝を忘れずに過ごします。
○教室を先生たちが掃除してくれたので、居心地が良くなりました。安心して、快適に過ごせます。
○電子黒板の位置が高くなって、今まで、前の人で見えないことがあったので、見やすくなりました。小さな工夫でも日々の授業が快適になるのだと分かりました。



あいさつビーンズ

あいさつビーンズも
AIでリニューアルしました。

生徒の皆さん、コメントありがとう。がんばって良かったです。